

平成２９年度第２回 茅ヶ崎市市民討議会報告書

テーマ：話そう！２０３０年の茅ヶ崎ぐらし

～ 私たち色の茅ヶ崎をだいたんコーディネート ～

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ	1
1 市民討議会の実施概要	
(1) 日程等	2
(2) 討議テーマと情報提供	2
(3) スケジュール	2
(4) 参加者内訳	3
2 市民討議会の討議のヒント	
(1) 討議 1	4
(2) 討議 2	4
(3) 討議 3	4
3 市民討議会の提言のまとめ	
(1) 討議 1	5
(2) 討議 2	12
(3) 討議 3	20
(4) 参加学生の感想と意見	24
4 アンケートの結果	
(1) 事前アンケート	26
(2) 事後アンケート	28
(3) 不参加者アンケート	31
5 講評	34
6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き	36
あとがき	37

実行委員長あいさつ

茅ヶ崎市では恒例となった、「市民討議会」の報告書をお届けします。2017 年度は 2 回の市民討議会が行われました。本報告書は、第 2 回（2017 年 12 月 3 日）の経過と結果を記しています。

「話そう！ 2030 年の茅ヶ崎ぐらし ～私たち色の茅ヶ崎をだいたんコーディネート～」をテーマに、次の総合計画をコーディネートしようと試みた今回は、40 名の参加者を得て開催されました。そして、9 グループで討議をする、たいへん盛大な会となりました。来場して下さった市民のみなさまに、心より感謝申し上げます。

討議会は、抽選により選ばれた市民に招待状（今回は 2400 通）を送り、参加者を募ります。2030 年の茅ヶ崎を話し合う機会ゆえ、多数の若い人たちにご参加いただこうと、35 歳未満の方々に多くの招待状を発送しました。その結果、18～34 歳が参加者の 33%、35～49 歳が 19%、50～64 歳が 18%、65 歳以上が 25%となり、討議のためにバランスが良い参加状況が実現しました。その一方、男性が 37%、女性が 63%という結果でもありました。男性の参加をどのように呼びかけるか、これが今後の課題ということになるでしょう。

当日の討議は、市民の思いを伝えあう、温度感ある展開となりました。参加者相互の共感を力に、討議が進みました。テーマが総合計画に強く結びついていたため、馴染みがなく、話題が難しいと感じられた方もいらっしゃったはずですが、しかし、これからの「私たちのまち」をつくり出そうと、和やかな中にも真剣な話し合いとなりました。まさに、討議の意味である、よく考え、よく話し、熟慮を重ねる時間であったと思います。参加者の熱気が会場全体に行きわたり、対話の大きなうねりとなって、討議会のすばらしさが実現されました。もちろん、私たち実行委員も、この雰囲気は大いに感激しました。

総合計画は、10 年先を見越した、まちづくりの骨格となるものです。だからこそ、計画づくりに市民がかかわり、計画が良いものとなるよう、皆でコーディネートする作業は重要です。その時、市民討議会が、こうした市民の身近で大切な活動につながるのなら、これほどうれしいことはありません。とりわけ、参加者のみなさまが、こういう機会だからこそ参加したと言って下さるとき、討議会を開催する意味も増すのではないかと思います。

末筆となりましたが、市民討議会にかかわって下さったすべてのみなさまに、あらためて御礼申し上げます。そして、望ましいまちの実現に、今後とも協力くだされば幸甚です。茅ヶ崎市において、市民のみなさまの活発な「討議」が続きますよう、願っております。

平成 29 年度茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会委員長
山田 修嗣（文教大学 国際学部）

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

- ア 日 時 平成29年12月3日(日) 10時00分～17時00分
イ 会 場 市役所本庁舎4階会議室1～3
ウ 参加者 40名
エ 主 催 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

- ア 全体テーマ
「話そう！2030年の茅ヶ崎ぐらし
～ 私たち色の茅ヶ崎をだいたんコーディネート～」
イ 個別テーマ
討議1「話そう！今、大切だと思うこと」
討議2「話そう！これからの茅ヶ崎に大切なこと」
討議3「話そう！2030年の茅ヶ崎をだいたんコーディネート」
ウ 情報提供
討議1「茅ヶ崎市の総合計画について」
討議2「茅ヶ崎市の人口推計と人口減少が社会に与える影響について」
討議3(情報提供なし)

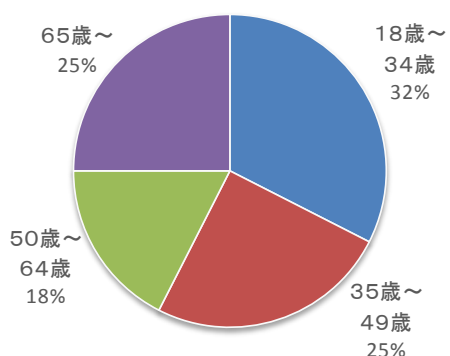
(3) スケジュール

- 10:00 開会、主催者挨拶
10:05 市民討議会の概要とテーマの説明
10:20 市長挨拶
10:25 情報提供①「茅ヶ崎市の総合計画について」
10:30 アイスブレイク + グループ討議①
11:25 【休憩】
11:30 グループ討議内容発表
12:10 【昼食】
12:55 情報提供②
「茅ヶ崎市の人口推計と人口減少が社会に与える影響について」
13:30 グループ討議②
14:30 【休憩】
14:35 グループ討議内容発表
15:10 【休憩】
15:20 グループ討議③
16:10 【休憩】
16:20 グループ討議内容発表
16:50 1日の振り返り
17:00 閉会

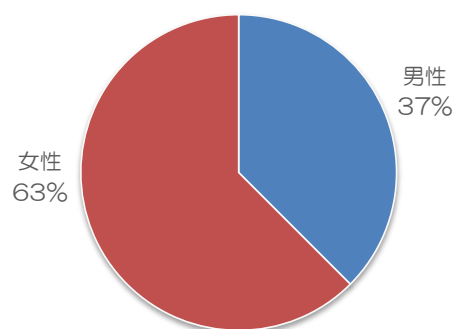
平成29年度第2回市民討議会の参加者内訳

	抽出数	承諾者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	1200	4	9	13
35歳～49歳	600	4	6	10
50歳～64歳	300	3	4	7
65歳～	300	4	6	10
合計	2400	15	25	40

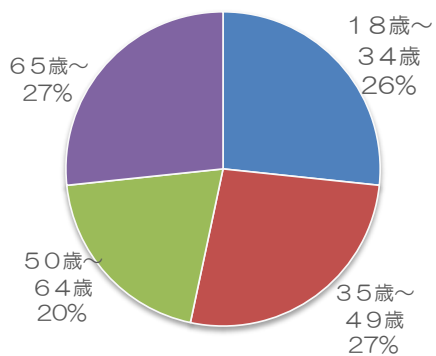
出席者 年齢層



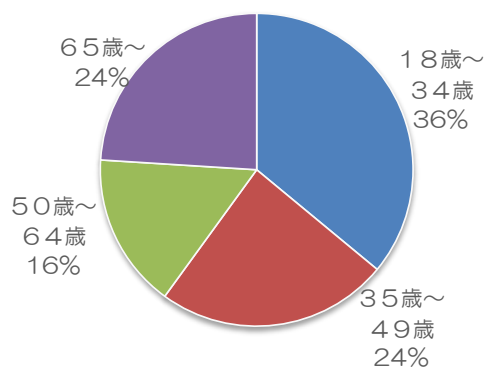
出席者 男女比



出席者年齢層（男性）



出席者年齢層（女性）



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1「話そう！今、大切だと思うこと」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介・アイスブレイク	お名前、茅ヶ崎市在住年数、茅ヶ崎の良いところはどこでしょうか、なぜ市民討議会に参加しようと思いましたか
政策の仕分け	14の政策について、説明をもとに以下の2つに分類してください 【柱となる政策】 …茅ヶ崎市の特徴がよりいっそう伸ばせそうなもの、茅ヶ崎市を特徴付けられるもの 【土台となる政策】 …政策として必要不可欠ではあるが、このまま維持し、安定的に遂行してほしいもの

(2) 討議2「話そう！これからの茅ヶ崎に大切なこと」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	名前、討議1の印象
理想的なまちの姿をあらわす キーワード選び	次のうち、2030年の茅ヶ崎市の理想の姿をあらわすキーワードを選んでください ①便利なまち ②きれいなまち ③安らぐまち ④いきいきとしたまち ⑤見守りあい、支えあうまち ⑥〇〇まち（グループで決めることも可能です）
キーワードの掘り下げ	選んだキーワードを実現するには、具体的に何が必要でしょうか、どのような工夫があるのでしょうか。感覚にしたがい思いつくだけ出してください
政策の選択（3～5政策）	話し合ってきたようなまちにするためには、どの政策が必要でしょうか。討議1で説明を受けた14の政策のうち、3～5政策を選択し、その理由を話し合ってください

(3) 討議3「話そう！2030年の茅ヶ崎をだいたんコーディネート」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	名前、討議2の印象
2030年の将来像・理想像を描く	みなさんは2030年の茅ヶ崎でどのような暮らしをしたいですか。理想の暮らし方や、自分や社会ががこうなっていたらいいなと思うものを自由に話し合ってください
共感できるものの抽出	他の人の発表を聞きながら、共感が多かったものをまとめ、理想の暮らしのイメージを作ってください
キャッチフレーズの作成	話し合ってきた理想のまちに、キャッチフレーズをつけてください

3 市民討議会の提言のまとめ

(1) 討議1 「話そう！ 今、大切だと思うこと」

討議1では、現在の総合計画における政策内容を理解し、政策を柱項目・土台項目のどちらに該当するか仕分けるワークを実施

【柱項目】茅ヶ崎の特徴がよりいっそう伸ばせそうなもの、茅ヶ崎を特徴づけられると思われるもの

【土台項目】政策として必要不可欠ではあるが、このまま維持し、安定的に遂行してほしいもの、または、柱項目の土台として取り組みを継続してほしいもの

グループ1	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』子育て、学校教育・社会教育、生涯学習・文化、福祉、産業・雇用、環境・資源、都市づくり 『土台』行政経営、下水道・河川、地域保健・公衆衛生/医療 『中間』土木・基盤、安心・安全、消防 【子育て】保育園に入れるという安心感がほしい/子どもを増やさないという未来にはつながらない【学校教育・社会教育】子どもを見てもらわないと働けない状況/学童保育の充実の重要性 【生涯学習・文化】やりたい人とやりたくない人の個人差がある【福祉】施設の数が足りない/伸ばすべき政策【産業・雇用】企業が減少中/生産活動をしていない/土地が高いので土地が安いところへ移ってしまう/マークの統一等で茅ヶ崎と分かるようにする/特産品がパツとしない【環境・資源】持続可能な社会を目指す/新しい社会への取り組みをすることが大切/環境問題は今も今後も社会全体の課題【都市づくり】自転車が多いまちなので自転車のまちを推進したら良い/自転車をアピールしているが道の整備がされていないので危ない/人を呼べるまちにしたいのでサイクリングスポット等外国人も来られるようにしてほしい/海・森・富士山が見えるポイントで観光環境を整えることは将来につながる【土木・基盤】公園が少ない/ボール遊びのできる公園がない/都市づくりの基盤として重要/都市開発ではなく今ある良さを引き出してほしい/みどりが減ると茅ヶ崎の良さがなくなる【安心・安全】【消防】南側は住宅地なので火事のときに対応できるように伸ばしてほしい/住宅が密集している/道を広くしてほしい/消防は安心安全のためにやらなければならないこと【行政経営】ふらふらしては何もできないので土台目標【下水道・河川】泥が多い/生物が生きられる程度にきれいにしてほしい/ちょうど良く自然を残してほしい【地域保健・公衆衛生/医療】なくてはならない

グループ2	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』環境・資源、消防、産業・雇用、地域保健・公衆衛生、都市づくり 『土台』医療、福祉、土木・基盤、下水道・河川、行政基盤

	『中間』子育て、学校教育・社会教育、生涯学習・文化、安全・安心 【施策についての意見】どれも改善する必要がある/小児医療がおくれている/補助金が中途半端/充実させ、将来の子どもたちに目を向ける必要がある 【ひとづくり】子育ては土台？/子育てを柱にして、伸ばしていきたいという思いもある・茅ヶ崎も待機児童の問題があるから、横浜市の政策を行ってみればいいのか・これから人口が減るのだから、子育てをベースにするのは大切なのでは 【地域づくり】(福祉)市立病院に気軽にいけない、行きづらい→紹介状が必要/(医療)人の命にかかわるので土台/介護士は仕事のわりに給料が低い/保育ももっと給料を高くしても良いのでは/(景観)きれいで住みやすい部分はもっと伸ばせる 【暮らしづくり】(安全・安心) 3.11のような地震が来たとき団地だと逃げられない→団地も古い/子ども・老人・障害者がもっと逃げやすいようにすべき/道路が狭い/計画的に工事を (消防)市民に様子がわかるよう、もう少し工夫/(その他)市営球場の建て替えは、緑が多くなり湘南らしさがあって良い/ハワイと姉妹都市だから、海岸をハワイらしくしてほしい 【まちづくり】(都市づくり)おしゃれで魅力的/寒川とのつながりを改善/都市づくりは土台がしっかりしていることが大切/きれいなのはいいが内面をもっと磨くべき (農業・雇用)農家の若い人が頑張っていて良い 【学校教育と子育て】(学校教育・社会教育、生涯学習・文化)保育園の待機児童問題→「入れない」という前提で話してくる/子育て、学校教育がしっかりしていないと、現状を考える若い世代が生まれないのが悲しい/ママ友と関わる施設/新しいことを始め、お金の使い方を見直す/知ること・一緒に、が大切で子育てと学校教育を知る機会が必要(茅ヶ崎市ツアーをしてほしい)
--	---

グループ 3	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』土木・基盤、安心・安全、学校教育・社会教育、産業・雇用、都市づくり、地域保健・公衆衛生、環境・資源 『土台』医療、子育て、生涯学習・文化、福祉、下水道・河川、消防、行政経営 【行政経営】財政面に不安を感じる【土木・基盤】公園や緑地の整備をしてほしい公園整備がされていなくて子供を遊ばせることができない【環境・資源】細かくゴミの分別ができるように改善すべき【都市づくり】茅ヶ崎に人を呼び込む【産業・雇用】積極的に企業誘致をすべき→人を呼び込むきっかけになる【安心・安全】災害や散財の対策経費がもう少し必要/街灯の増設をしてほしい【学校教育・社会教育】学校設備の見直しと教員の増員が必要だと思う/教育費、学校設備、教員数を重質してほしい【地域保健・公衆衛生】

	力を入れていくことで、医療福祉も向上していくのではないかと【子育て】少子高齢化は子育て環境が整備されていないことも影響していると思う 【人づくり】予算を考えなければ全て柱にしたい【地域づくり】寿命が延びていることを考えれば、サービスの質は向上させるべき【暮らしづくり】災害や犯罪が増えるのであれば、それに合わせて常に対策していくべき/重要性は低くてもいいが柱に
--	--

グループ 4	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』環境・資源、都市づくり、産業・雇用、福祉、学校教育・社会教育 『土台』子育て、医療、土木・基盤、行政経営、消防、下水・河川 【環境・資源】茅ヶ崎は自然がたくさんある→特徴伸ばせるのではないかと海が素敵だから何とかしてほしい 【都市づくり】茅ヶ崎の特色を活かしたまちづくりができると素敵 住みたいと思わせるまち 【産業・雇用】海でイベントを行うと人が集まるのではないかと、茅ヶ崎に来ないと見ることができないイベントを作ればいいのではないかと/烏帽子岩の遊覧船、サイクリングの貸し出しももっと増やす 茅ヶ崎の有名人もっとアピール/道の駅で果物など販売 【福祉】地域によって福祉や市民税の違いはあるのか【学校教育・社会教育】学校の分布にばらつきある/公園の整備（遊具の点検や新しい遊具の設置） 【子育て】子育てしやすいまちになると人も住みやすくなる/のびのびしている/子育てしやすい【医療】茅ヶ崎ならではの医療考えにくい【土木・基盤】広い道路でないところとこぼこしていて危ない 鉄砲通りより先の道が安定してなくて危ない/駅の南側は道が狭いので車が通りづらい/緊急の時に困る/人口が増えるとマンションが建ち環境が変わる【行政経営】PR 活動弱い【消防】消防団の高齢化により若者の力必要→大学生などが参加してもいいのではないかと/消防団が少ない/消火器の認知度が低い【下水道・河川】氾濫等がこわい

グループ 5	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』子育て、学校教育・社会教育、生涯学習・文化、福祉、地域保健・公衆衛生、環境・資源、安全・安心、都市づくり、産業・雇用 『土台』行政経営、医療、消防、土木・基盤、下水道・河川 【施策についての意見】安全・安心が一番/いろいろな年齢で問題が出たが、前提に安全・安心というものが共通/安全・安心からどのように茅ヶ崎らしさを入れていくのか/年齢によって希望が違う/2030 年を思うともう生きていない。若い人の意見を尊重していくべきかもしれない/治療費等に関する手当が茅ヶ崎市にないのは情けない 【地域づくり】(福祉)少子高齢化はわかりきっている/同世代でも 1 人暮らし

	が多く、そのまま高齢になる（医療）基本的なことだから（地域保健）知らない人が多いから、広めて伸ばしていった方がいい【暮らしづくり】（安全・安心）自転車が多い、ひかれそうになったこともあるし、テレビでも注目されていた/子育てにもつながるし、もっと力を入れるべき（環境・資源）あまり意識したことがないが、公園など増やせるかもしれない、でも緑が少ないわけでもない/南の方は緑が少ない。座間のほうなどはもっと整備されていた/公園があっても安全にみえない【まちづくり】（都市づくり）茅ヶ崎海岸に魅力を感じられない、鵠沼海岸はすごく素敵だった。去年は aiko が来たけど今年は減っている。もっとそういうことをすれば若い人がくるのでは/堤に住んでいる親は車などがなくて物を買に行けない。高齢化すると、買い物になかなかしづらいのでは/人が集まる場所が意外と少ない。近くの平塚や辻堂など大きな施設があるほうに出てしまう/地盤がしっかりしていることを売りにするのはどうなのか道が狭い、でも家の人たちにどいてもらうとなると権利の問題。要望としては広がってほしい/鉄砲道沿いに住んでいる。この辺りは広いが、それ以外は怖くて自転車では通れない（下水道・河川）柱にするほどではない、中央のイオンの方の川はすぐ氾濫して危ないけど、それは売りにできない。どこの地域でも問題。でも放っておいて良い問題でもない【学校教育と子育て】（学校教育・社会教育）、（生涯学習・文化）教育が一番、人を育てないと産業も伸びない。大人になってからではなく、子供のうちからしていくべき/教育とか社会のテーマは時代に応じて変わるもの。子どもたちがこれからの茅ヶ崎をどうするかを教育として柱にしていけるべき/文化的事業に欠けている。高齢者には文化会館の使用が厳しいのではない。/もうちょっと高齢者の文化会館使用などの文化的事業があったら良い。
--	--

グループ 6	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』都市づくり、産業・雇用、安心・安全、子育て、土木・基盤、生涯学習・文化 『土台』福祉、消防、行政経営、医療、地域保健・公衆衛生、下水道・河川、環境・資源、学校教育・社会教育 【都市づくり】祭りなどに関する回覧板等で情報が不足している/参加に関する情報がない/地元愛でよりよいまちに【産業・雇用】魅力的なまちづくり/南口の道が狭い/歩道・車道の区別がない/まちの活性化のために重要【安心・安全】消防や環境政策があつてこそその安心・安全な暮らしができる【子育て】全体的に不足している/豊かになれば住みやすくなる/人口増加につながるのでは【土木・基盤】軽自動車でない移動が困難/通路が狭い/プラスアルファで考えればよいが暮らしには欠かせない/自動車専用道路の幅が狭い/公園がない/遊具がない【生涯学習・文化】高齢者の居場所づくり【福祉】誰でも障がい者に成り得る、みんな必ずそのうち高齢者になるので一部の市民だけでなく、市民全体に大切なもの/健康保険は福祉の充実が重要になってくる【消防】海付近の火災が心配/環境資源・消防が土台目標となっていれば安心・安

	全が得られるのではない【行政経営】PDCA サイクルが明確になれば良い/評価方法がどうなっているのかわからない/しっかりやってほしい【医療】未来の子どものために/医療サービスの不足/市立病院ですべてをやらなくても専門病院で診てもらふことが多い/地域保健【地域保健・公衆衛生】多くの人に当てはまる/医療の土台になってくる/衛生的なものがないと安心・安全はない【下水道・河川】自然災害はしょうがない/冠水が不安/水はけを良くしてほしい【環境・資源】衛生管理は大切/民間に委託して良い【学校教育・社会教育】学校にエアコンがない/人口増加につながる/市民交流の場
--	--

グループ 7	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』医療、都市づくり、福祉、産業雇用、生涯学習・文化 『土台』行政経営、子育て、地域保健・公衆衛生、環境・資源、消防、下水道・河川、安心・安全、土木・基盤 『中間』学校教育・社会教育 【行政経営】基本的なことをしっかりしていかないと、その後のことも進まない/柱というよりは土台という感じがする/【ひとづくり】子育ては土台？/子育てを柱にして、伸ばしていきたいという思いもある/茅ヶ崎も待機児童の問題があるから、横浜市の政策を行ってみればいいのか/これから人口が減るのだから、子育てをベースにするのは大切なのでは 【地域づくり】従事する人たちが不足しているから、そうしたところをしっかりとやってほしい/伸ばしていきたい=福祉は柱？/医療に関しては信頼を勝ち取るように努力してほしい/健康診断の通知が来ることはいいことだと思う 【暮らしづくり】防災の取り組みを他の市の人に話すと羨ましがられる/茅ヶ崎は標識がしっかりしているから良い/茅ヶ崎は他と比べると災害のリスクは低いのでは？だから税金は子育てや教育などにかけるべき 【まちづくり】道路もできて、ガードレールもできたがそれ以外はあまりできていない/自転車スピード出しすぎていて危ない、自転車の道路を明確にするべきでは/「サイクル&ラン」途中まで自転車で来て、途中で置けるシステム、外の人に話したら進んでいると言われてが、実際のところ茅ヶ崎市民があまりそれを分かっていない、茅ヶ崎市は都市づくりを考えたらまだまだ？ 【まとめ】茅ヶ崎のイメージ福祉や医療に力を注いだ方がいいのでは/何かと何かをつなげて考えるということも大切/障害者の人にもできる作業で活躍できる場所をつくることも必要ではないか/柱の部分は伸ばせそうな部分がある『土木・基盤』に関して茅ヶ崎は家を作り続けているが、家を作れば人が来るメリットがあるが、デメリットとして自然破壊につながってしまう

グループ 8	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』都市づくり、地域保健・公衆衛生、医療、生涯学習・文化、子育て、安心・安全、産業・雇用 『土台』福祉、消防、学校教育・社会教育、下水道・河川、土木・基盤、行政経営 【政策内容・政策の仕分けについて】 土台と柱の仕分けがうまくできない、基準がわからない/仕分けにこだわってしまって時間がなくなってしまった/似たような政策があってもわかりにくい/土台はやはり生活のインフラになるもの/「よりよくしたいもの」を柱に/基本的な政策の中に特別な政策/土台と柱で予算の使い方に影響は出るのか？/行政経営はやはり土台では？/土台の土台に行政経営ではない？（本当に基礎）/土台のなか、柱のなかでもヒエラルキーがある/生活する上でなくてはならない下水道、河川、土木基盤/消防、環境資源があることで安全・安心が保たれる/産業雇用の発達 【子育て、学校教育、文化生涯学習の環境改善】 子育て世代の孤立…行政に頼るのではなく、地域で！/母親が子育てに加えて家事、仕事をする女性も増加していることが背景にあることから子供が増えない/子どもの 24 時間受け入れ可能な施設が欲しい→改めて施設をつくるのもいいが、一対一の関係（親と子ども）だけではなく、まち（集団）で子どもの成長を見守る・助けることができるという/空き家の活用→お年寄りと子どもたちが交流できる場所（地域のサロンのような）があつたらいい→実行したいが行政の壁がある/税金免除の要請、消防法の改正/隣近所に子どもを預けることができない時代 【福祉・医療の需要の向上】 高齢化によって絶対需要が高まってくる/福祉政策があつてからの医療や保健、公衆衛生なのか、医療制度が整つてからの福祉、公衆衛生、（地域づくり）なのか 【まちづくり】 ・有名な例として、アメリカのポートランドのまちづくりがあげられる→人づくりとまちづくりの同時進行→まちづくりをベースにすれば、人の繋がりができ、子育て、福祉などの政策が同時に追いついて来る/茅ヶ崎の町の特徴を活かしたまちづくり→海と山に囲まれている、自転車一周できるほどコンパクトなまち、道幅が狭い、自転車が多い（マナーが悪い）、車の通れる道が少ない、歩いていて危険な場面に遭遇することがよくある、子どもと安心して道を歩けない、ベビーカーを押して出かけるのが不便 【子育てと仕事が両立しやすいまちづくり】 住まいと職場が遠いと不便→保育園・幼稚園と職場が離れていると不便/ベッドタウンとして活用されている茅ヶ崎にもっと魅力的な何かを/茅ヶ崎でどのような暮らしをしたいのかを住民同士で共有することも大切

グループ 9	グループ意見
(1) 政策内容の理解 (2) 政策の仕分け (3) まとめ	【政策の仕分け】 『柱』都市づくり、安心・安全、学校教育・社会教育、生涯学習・文化、子育て、消防、産業・雇用、医療 『土台』地域保健・公衆衛生、福祉、行政経営、土木・基盤、環境資源 【行政経営】基本理念であれば、土台がふさわしい/基本である 【子育て】待機児童の問題等を考えれば、柱に該当するのでは？/永続的に進めていくべき課題であるから土台であっても 【福祉】、【医療】サービスを高めてほしい/市民病院が暗いため隣町の病院を利用してしまっている/茅ヶ崎市病院マップを作成してほしい/基本は土台だが、柱にも含めてほしい絶対土台、健康ありき/辻堂が充実→茅ヶ崎の市立病院の質を高めてほしい 【地域健康・公衆衛生】動物飼う人の責任/行政というより個人の問題であるため、住民の意識を高める方策が必要 【環境・資源】、【安全・安心】身近な話だからこそ充実させたい/自転車マナー悪い/駐輪場増やすべき？ 【消防】救命の仕組み作りをしてほしい/南口の道を拡張してほしい。【都市づくり】安全・安心とつながる 【土木・基盤】、【下水道・河川】環境系、教育系は一切話題にならず 【学校教育・社会教育】、【生涯学習・文化】教育課題として、質を高めていくべき分野

(2) 討議2 「話そう！これから茅ヶ崎に大切なこと」

討議2では、2030年（これから）の茅ヶ崎を考えたとき、みなさんにとって理想的なまちの様子（あり方）を1つ選んでもらい、理想のまちのあり方を実現するために必要不可欠な政策を選択してもらうワークを実施。理想のまちのあり方、必要不可欠な政策について討議。

【理想的なまちの姿のフレーズ】

①便利なまち、②きれいなまち、③安らぐまち、④いきいきとしたまち、⑤見守りあい、支え合うまち、この5つの中にピンとくるものがない場合は、皆さんの言葉でまちの姿を決めて⑥〇〇〇のまちをつくる

グループ1	グループ意見
(1) 2030年の茅ヶ崎のあり方	⑥『つながりがあるまち』
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	自分以外の目線でかんがえることが出来る/こどもが地域に愛着をもてる/高齢者世代にとっても同じ世代のつながりのあるまち/こどもと地域のつながり/他人を気遣うまち/地元愛のうまれるまち
(3) 2030年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	• 子育て • 産業・雇用 • 学校教育・社会教育 • 生涯学習 • 安心・安全
(4) 政策の選択理由	【子育て】 子どもや将来の担い手に地域に愛着のもてるまちにしたい 【産業・雇用】 民間と住民のつながりや連携/程よく都会・程よく田舎/魅力あるまちの現状維持/海のスポーツに力をいれる/チーム誘致のためにスタジアムの建設をする/引っ越してきた人にもすきになってもらうためにも他人を気遣えるまち/地域の魅力を地域ごとに発信し、それを引き出せる産業/観光を通じて他地域とのつながりを得る 【学校教育・社会教育】 子どもに対して注意をする人がいない/学校と地域のつながり/あいさつ運動/地域の人が先生として学校へ来て教える/教員の労働環境の整備による教育の質の改善 【生涯学習】 地域だからつながれるメリットを生かす交流/地域交流の希薄化/退職後の過ごし方 【安心・安全】 つながりを拒む人がいるが気遣えることが大切/近くに頼れる人がいるのは安心/やすらぐ所 茅ヶ崎

グループ 2	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	③安らぐまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	見守り支えあうことも含まれる/近所同士の付き合い/若い人と挨拶を交わす/助け合える関係に/公園など家族利用できる場所が必要(南の方に足りてない)/避難所としても使える広いスペースの確保/休日イベント開催(広報もわかりやすく)/自然の保存
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	●安心・安全 ●土木・基盤 ●生涯学習・文化 ●子育て
(4) 政策の選択理由	【安心・安全】働きやすいまちづくり/世代間交流/昔からいる人と新しい人の繋がりがあると子どもを預けることが可能/子どもに対する認識の差(うるさいという人も) 【土木・基盤】自然を守り、子どもが幅広く活動できるまちに/土地をもっとうまく活用/公園のルール規制の緩和(ボールの使用など)/ゴルフ場の土地をどうするか 【生涯学習・文化】サークル活動で世代間交流(時間を合わせられるかが問題)/防災マップ作成/講座での接点づくり 【子育て】土地を教育子育てに利活用/保育園の増設

グループ 3	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	①便利なまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	おしゃれできれい/人づくりができれば、コミュニティの中で完結できるまちづくり/流入人口が馴染みづらい/若い人に「住みやすい」と言ってもらえるまちにしたい/住み続けたいまちとするならば、新しく入った人も仲良く、家族で暮らしていきたいというモチベーションに→子育て・福祉が関係するのでは/茅ヶ崎はいきいきしたまちの印象/労働力が足りていない→子育てにも関係している/茅ヶ崎らしさのアピールが重要/人が集まり、見守り支え合うまちになれば、街がきれいになることにも繋がる
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	●都市づくり ●産業・雇用 ●子育て ●医療 ●福祉
(4) 政策の選択理由	【都市づくり】交通サービスの充実→活性化を図る/道が狭く、車を使うときは不便/茅ヶ崎には、海も山もあるため、綺麗に整備されているだけでも呼び込みになりそう/空き家の増加 →子育て世代が戻りにくい/空き家活用よりも空き家にしない工夫が必要/電信柱を減らせば景観美に繋がる 【産業・雇用】職場と託児所を合わせた場を作るべき→自宅での在宅ワーク

	よりも生産性が上がるだろう/個人経営の飲食店が賑やか/茅ヶ崎は商店街が少ない→街灯も少なく、夜になると暗いため、防犯的に心配/観光客が減っている/起業家の支援 【子育て】子育てや福祉は問題/離職する母親が働き続けることができるようなワンランク上のサポートが必要/子育て事業に重点をおいてほしい/子育てと産業の関係性は大きい→子育てしやすい職場が作れるまちが理想/子育てする人をサポートする制度があれば働きやすい（補助金等） 【医療】医療福祉は重要だが、予防的などところに力を入れることも必要/有料介護が高く、安心した老後を見通せない 【福祉】支え合い、守りあいが十分でない/近所の掃除などでコミュニケーションにできればいい/マンション内のコミュニティがあるが、外での交流は少ない
--	---

グループ 4	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	⑤見守りあい、支え合うまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	大人が子どもを見守れる環境→子ども 110 番/市民同士の関係が密だと「見守る」環境もより良くなる/ローカルファーストのグルメの話で企業同士の連携も必要だと思った/暗い道路に街灯を設置する/バスが終わる時間早い→バス会社との時間の調整必要/コミュニティバスも遅くまで運行していると良い/近くの住民同士で連携を取って見守りの体制つくる/コミュニティバスも停留所を決めないで乗り降り自由にすればいいのではないかと/市民同士のコミュニティの場をつくる/市民と企業も関われる場、機会があると良い/学校を開くことで地域と学校との関わり合いもできるのではないかと→子どもに焦点を置くなら学校が大事/市民と学校の関わる機械が減っているからこそ開くことが大事→子どもを見守ることにつながる
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠と思われる政策の選択	● 行政経営 ● 福祉 ● 環境・資源
(4) 政策の選択理由	【行政経営】コミュニティと人をつなぐ場への入り口やきっかけが分かりづらい、市民の目に入りにくい→行政からの呼びかけ/介入やきっかけづくり必要/入り口側から呼びかけることでより定着につながるのではないかと 【福祉】子どもと老人ホームが同じ建物内に入っているとつながりの場ができるのではないかと 【環境・資源】空き家をつながりの場として活用

グループ 5	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	⑥大好きなまち

(2)(1)で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	他のまちは人が出ていくが、茅ヶ崎は人が戻ってくるまち。人をつなぎとめられる/どんなところが好きか、大好きなのかは、世代や外から来た人で違う。コミュニケーションが必要/オープンコミュニケーションができることが重要。若い人たちのために「子育て」。今ある良い環境を残していく/行政任せでなく市民が参加していく
(3)2030年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	● 都市づくり ● 生涯学習・文化 ● 行政経営 ● 安心・安全 ● 子育て
(4)政策の選択理由	【都市づくり】南口にできた高層マンションに、人は来るかもしれないが、せつかくの良さがなくなってしまうのでは/良さを残してほしい 【生涯学習・文化】つながりになる 【行政経営】市が土台をつくってほしい/必要だが市に任せるだけでない、ハコモノになってしまうかもしれない 【安心・安全】人を受け入れる・つながるには必要/人との交流が「安全・安心」につながるように、開かれることが安心になるように 【子育て】・幼稚園・保育園が知らないうちにできている。壁が高く閉鎖的。もっと開かれて、交流があっていいのでは/見える化によってつながりができる/小さい子供が暮らしやすいほうがいい/児童保育のような施設があるが、すりガラスで中が見えない。何をしているかわからない。いつの間にかできたし、不思議/発達障害の子供を預かっている放課後デイサービスなのでは/発達障害のある子どもだからと閉じてしまうのもよくない。見えないところで起きる問題もある/外から見えるような保育施設は、社会に開かれているイメージがあり、明るい/保育士さんが挨拶してくれるのはイメージが良い。挨拶をするような決まりなどがあると、子育てしやすいイメージができるのでは、行政のサポートがあったら良い子供のデイサービスが閉鎖的だが、すべて開かれているべきとは言えない。開かれすぎているのは無防備/子供を預かっているような施設も交流は必要。高齢者施設では地域の人を呼ぶなどしている。ある程度のコミュニティづくりは必要

グループ 6	グループ意見
(1)2030年の茅ヶ崎のあり方	④『いきいきとしたまち』⇒湘南観光がアピールポイント/一人ひとりがいきいきと暮らせるまちをテーマにするべき/
(2)(1)で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	色んな世代の人が関わりあって暮らしていくので地域内でボランティアをする/塾に行けない家庭の子を集めて、学歴の高い高齢者が勉強を教える場に
(3)2030年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	● 子育て ● 産業・雇用 ● 都市づくり ● 生涯学習

	福祉
(4) 政策の選択理由	【子育て】 高齢者・障がい者を守ることはすべての人をまもることになる/将来が安心できるといきいきと暮らすことができる/ 【産業・雇用】 税収につなげる/環境事業で入ってくるお金が増える/観光から健康につなげられるのでは/冬の海の楽しみ方があればよい/芸能人の出身地をアピール/オールシーズンの魅力を伝える/ライブ・ドラマ等ロケーションの活用 【都市づくり】 便利なまちをつくるために大切/高齢者の移動手段/外で会うのが好きな市民性/えぼし号の本数が少ない 【生涯学習】 人間形成の面で大切である/喫茶店の使わない時間を子ども食堂にする/一人暮らしの集まるスペースを作って交流する/会社勤めの市民の趣味づくりをする 【福祉】 同じ暮らしがずっと続けられるまち/デイケアは自然と人々とコミュニケーションがとれるので良い/世代別の楽しみ方があっても良い/地域住民のサポートが福祉には不可欠/バリアフリーを進めてほしい/医療費を充実させてほしい/自助充実

グループ 7	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	⑤見守りあい、支え合うまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	子どもたちが成長することを考えると見守り合い、支え合えるまちが良い/隣近所で顔は知っていて挨拶はするが、その家庭の家族構成などは知らないし、聞かない。しかしそういうことを共有した方が事件を防ぐためにも必要なことではないか/挨拶以外にも会話ができるお付き合いをするべき/子どもが寝ている間に買い物に行きたいが、実際には難しいのでそういう時に高齢者に世話を頼んで見守ってもらえたらと思う、お互いに支え合いまでいなくても触れ合うところまで行けたらと思う/昼間のスーパーの高齢者の多さを目の当たりにすると見守り合いの必要さを改めて実感する/交流できる機会をつくれればいいのでは
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	- 安心・安全 - 福祉 - 子育て - 生涯学習・文化 - 産業・雇用
(4) 政策の選択理由	【安心・安全】多世代交流が減っている/高齢者と子供の交流の場があると良いかも/子守りが頼める関係があると良い 【福祉】何かあったときのためにつながりは必要/近所の交流があれば目が

	ある→身内が認知症で外に出てしまった時も助けてもらえた/高齢者でも外に出るのがおっくうという人がある、まちななかでお年寄りにできることやイベントなどやる場所があると良い/認知症を触れ合いの場で抑制/高齢者と子供の交流にはメリットがある→高齢者は元気をもらい、子供は知識が増える→接点をもつことが大切/回覧板以外にも高齢者に対する情報が必要かも(紙媒体で) 【子育て】学童保育ではないが、場所を提供できれば見守りの一歩につながるのではないかと学童保育に代わる施設があると良い/行けば誰かがいて子供を遊ばせられる場所があると良い/外で働きに出ているが、子供を預けるのは何をしているか分からないから不安もある/働きに出ることも大切→外とのつながりもある/子育てしながらテレワーク(在宅勤務)の活用/幼少期から高齢者との触れ合いが普通になる環境づくり→そうした取り組みが茅ヶ崎市のアピールになる/ヨーロッパでは、お金が一切かからず、子供を預けられるため女性が働きやすい社会が成り立っている→茅ヶ崎市にもそういった取り組みをやってほしいと思う 【生涯学習・文化】茅ヶ崎にいろんな人が来てほしいけど、そのような人を受け入れる施設などが無いのが現状では?/空き家プロジェクトやソーラックキングなどをしてはどうか/茅ヶ崎市の良いところ探しをするのもいいのでは/スタンプラリーで良いところ発見をする→新しい観光資源を開拓/高齢者が案内などをするのも良いかもしれない/観光でいうなら海だけでなく山も!/里山公園で歴史にふれる、里山を活用して子どもと高齢者の交流をはかる(昔話や地元学など) 【産業・雇用】高齢者が買っているペット問題→面倒見られなくなった時のペットシッターの活用/イベントなど、どこで何をやっているかアプリで場の情報が分かるようにできたらいい→場の活用にもつながる/産業や雇用が増えれば市も充実する
--	---

グループ 8	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	⑥便利で、安らぐまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	平らな道が多い→自転車移動しやすい、買い物に行きやすい、子どもや子育て世代、高齢者にとっても移動がしやすい/ちょうどいいまちの大きさ(コンパクト)/温暖な気候/まちの雰囲気が落ち着いている/自然豊か/山と海の両方が楽しめる/持続可能性/個人店の多さ(大型スーパー、デパートができてにくい)/ものづくり(職人が多い)/個性のある店がある/子どもがのびのび過ごせる
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	● 子育て ● 産業・雇用 ● 都市づくり ● 学校教育・社会教育 ● 安全・安心

(4) 政策の選択理由	【子育て】子どものニーズに合った遊び場が欲しい/室内の遊び場が欲しい/子どもの家/コミュニティセンターの活用/近所づきあいがもっとできる環境 【産業・雇用】住民一人ひとりが生きがいを持つことができる地域様々なジャンルの個人店が頑張れる、存在感が大きい地域 住民のなかにはモノづくりをしている人が多い、その人たちが活躍できる地域/個人店マップづくり→パン（茅ヶ崎はパン屋の激戦区）、野菜、肉などジャンル別に 【都市づくり】高齢者も安心して生活できる、生活しやすい/道路の整備→車や自転車が通れる道と通れない道をつくる/道が狭くて、入り組んでいるところが茅ヶ崎のよさでもある→交通事故の心配が減る、防犯にもつながる/車を使わないまち/（駅南の）道路のマップが欲しい→広い道、狭い道、一方通行、行き止まり、どこを通れば簡潔に目的地に着くのかを知りたい/デイスサービスの車の乗降場所の確保、規制/農地を壊さない/今あるものを活かす/住宅地の開発の規制（安心・安全の政策とリンクするところがある） 【学校教育・社会教育】「いつか戻ってきたい」と思える場所にしたい/戻ってくる（Uターン）、他の人に紹介、住み続ける/茅ヶ崎の魅力を子どもたちに学校で教える、考えさせる→自分たちの住んでいるまちとは？/課外授業で実際に学校の外に出てみる→新しい発見、感じる/住民の知っている茅ヶ崎の魅力・情報を住民同士で共有しあう場があるといい→マップ、地域の情報誌 【安全・安心】個人店が多いことから、行きつけのお店があると防犯につながる、客の身に何かあった時に変化に気づくことができる（都市づくりの政策とリンクするところがある）
-------------	---

グループ 9	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎のあり方	⑤見守りあい、支え合うまち
(2) (1) で考えた茅ヶ崎のあり方の具体化	自律・顔の見える関係づくり/海外と比べて日本は空が狭い（理由：電線が多い）→景観問題/交流の場をもっと増やしたい。近所の人々が自然と集まれる場所/交流の場を増やす案は良い。茅ヶ崎市に落とし込めるように考えてみたい。（里山公園、中央公園の活用）/電柱が多い。地中化を推進すべき→予算がかかる、茅ヶ崎だけの問題ではない/自治会に代わる機能があったら良い→入りづらい/世代交代ができない/若者が入りにくい。
(3) 2030 年の茅ヶ崎のあり方に必要不可欠だと思われる政策の選択	● 都市づくり ● 安心・安全 ● 行政経営 ● 子育て
(4) 政策の選択理由	【都市づくり】インフラの充実/魅力にあふれた住みたいまち/ゴミ問題はこれから改善すべき課題 【安心・安全】「見守り合い・支え合うまち」として自治体は1つの手段。

	理由としては、近所づきあいが希薄であるため/顔の見える関係は、防災にもつながる 【行政経営】自治体に若者が参加するメリットがあるのか？→多様な世代が参加している方が継続性がある/行政と自治体が良い協力関係を築ければ良いのではないか/他の市町村の課題解決事例を知りたい/自治会を一度壊して新しいコミュニティをつくるべき/自治会は会費が高い/自治会は「自分で治める会」だから、行政へ提言すべき課題になるのだろうか？/市に提言することはない、自分たちでやっていかなければならないこと
--	--

(3) 討議3 「話そう！2030年の茅ヶ崎をだいたんコーディネート」

グループ1	グループ意見
(1) 2030年の茅ヶ崎における理想の暮らし	津波対策のしっかりしたまち/仕事を辞めても行きたいまち/市内で働けるまち/介護のしっかりしたまち/魅力的なまち/地域の人ともっとつながりたいまち/子育ての充実したまち/子どもに留まってもらえるまち/姉妹都市ホノルルとのつながりのあるまち/ハワイ企業の誘致やハワイビールと湘南ビールのコラボ等の文化交流が気軽にできる暮らし
(2) キャッチフレーズ	『国際都市ハワイアンなまち Chigasaki』

グループ2	グループ意見
(1) 2030年の茅ヶ崎における理想の暮らし	海を綺麗に/海でのマナー向上/海を活かして遊べるようなところを/海の施設を増やす/イベント開催/日当たりや住みやすさを活かす/狭い道路の適正な使い方(制度)/安全なまち/自転車の使い方講習/塾の代わりになるような仕組みの環境づくり/子育ての費用補助拡張/学校教育、制度の充実/介護施設の充実/働ける環境(子育てを終えた後でも)/介護の雇用創出/介護士の公務員化/空き家の利活用/隠れ家的カフェ・レストラン/人を呼び込める雇用の創出/お年寄りにも魅力があるまち/観光客を呼び込みすぎない地元住民優先のまち
(2) キャッチフレーズ	『海と太陽の中で多世代交流できるまち』

グループ3	グループ意見
(1) 2030年の茅ヶ崎における理想の暮らし	安心して子育てができる/次世代、将来について考える必要性/子供と高齢者との交流があるとよい/コミュニケーションのきっかけづくり/出生率を高めるために、教育費の補助などのサポートが必要/雇用の改善をすれば、人が増えるのではないだろうか/挨拶ができる関係性/夏の湘南イメージだけでなく、サイクリングなどで新しい湘南アピールを/2030年は今よりも暮らしやすく/コミュニケーションの場が増えることが理想的/地域の交流活動を多く行う/子育て、仕事が近場でできる/住みやすいまちとして人を集める/オールシーズンの観光や観光ツアーの実施/学校の老朽化の見直し/災害対策/避難場所/核家族対策/次世代へ向けた政策や土台づくり/多世代交流
(2) キャッチフレーズ	『もっと もっと』 もっともっと明るい茅ヶ崎/安心安全な環境/将来に対する安心感/より暮らしやすくするために/出て行った人がもう一度戻ってきたいと思えるまち

グループ4	グループ意見
(1) 2030年の茅ヶ崎における理想の暮らし	茅ヶ崎の雇用増加/地産地消/茅ヶ崎で観光、ショッピングなどが完結/公園が増えて欲しい/子どもたちに外で遊んで欲しい/子どもたちが

	いきいきしてほしい/挨拶ができるまちになって欲しい/大人と子どもの距離が近くなるといい/いろんな世代が交流できる場ができるといい/野菜の無人販売などをもっと PR してほしい/身近に野菜や作ったものを売れる場が欲しい/茅ヶ崎の歴史的な場所を子どもたちの勉強の場所として使うのはどうか/姉妹都市のホノルルのハワイの文化のいいところを活かす/茅ヶ崎らしさ、スタイルをつくっていく/アロハシャツの配布をしたらおもしろい/アロハシャツではなく、「〇〇シャツ」のような茅ヶ崎独自のものを作る/マリンスポーツの PR/スケートボードができる場があるといい/ヨットの停泊所、マリーナなどをつくる/バスの本数を増やして欲しい/自分のことは自分でできるようにして欲しい/健康寿命を延ばしたい/道路を安全に通れるようにして欲しい/基本的なルールを守って、安全が確保されるようにしたい/まちのバリアフリー化/広い道路にも自転車レーンをつくる/自転車マナーを向上させるための機会、場をつくる/自転車のマナー講座を開く（大人のためのマナー講座も欲しい）
(2) キャッチフレーズ	『イキイキしてウキウキしてワクワクするそしてほっとするまち、茅ヶ崎』

グループ 5	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎における理想の暮らし	中央公園は夜など何もないと怖い、明るくしたい、水が出るのは危ない、汚い、変えていくべき/衰退もしてほしくないけど、都会化もしてほしくない/高層マンションが多くあるとどこにでもあるまちになってしまう/こだわりが残るまちへ/いろんなルールをつくれればいい/江の島みたいになってほしくない/放っておいたらすたれてしまう/今くらいがちょうどいい/衰退と発展/テラスモール、ラスカ、高層住宅。茅ヶ崎らしいカフェを点在/大きくせず、小さくせず/これ以上でもなく、これ以下でもなく、このまま維持を/あるものをうまくつかってほしい/自分の力を使って考えられるような学校教育を/学校教育を変える/社会を変えるのに自分は関係ないと思ってしまう/討議会も若者が少ない/中央公園でいろんなお祭りをしている/いろんな世代に関わったイベントを（フリーマーケットなど）/夏前には浴衣を売るのも面白いと思う/継承させるお祭りをやる/ゆるキャラとコラボしてイベントをしていたが、それに代わるものを/市役所に友と発信できる窓口を用意、個人でもグループでも地域の中で何かやる、発信できたらいい。市や行政はその環境を整える、引っ張ってもらう/いろんな人がいろんな声を出せる環境づくり/動かない人もいる/市が問題じゃない気がする/いろんな世代がいろいろ参加できるよう、まちが動くようにする/市役所で集まるけれど、子育て中の人には来るのか/言っても届かない/服部市長を囲む会のようなオープンに意見が言えるようなところがあったら良い/茅ヶ崎市では声がちゃんと届いているというのがわかるように形でもいい/市長は発言しなくていい/自治会なり、コミュニテ

	ィなり、ハードルをさげてみんなが参加できるイベントを/みんなで楽しめる、コミュニケーションをとれる
(2) キャッチフレーズ	『ゆったりゆったり 大好き 茅ヶ崎』 いつまでも住みたい、いつまでも残りたい/住み心地の良さ/心が落ち着く/若者の自主性を生み出すには柔らかさが必要

グループ 6	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎における理想の暮らし	10 年後も住み続けたいと思えるまちづくり/個人店が近くにある暮らし(個人商店は色々な選択ができ、便利だったが閉まってしまう)/買い物の利便性が良いまち/遠慮しないで歩けるバリアフリーなまち/「やってもらう」側も感謝の気持ちをもった思いやりの心のあるまち/子どもを預けることができ、夫婦ともに働けるような子育てのしやすいまち/あいさつの先の関係づくりができるまち/子どもが住み続けられるまち/地域内のコミュニケーションのあるまち/マナーとルールを守る教育がしっかりされている/地域のつながりをよくしていきたい/子どもの教育につながる地域活性化/あいさつを返してくれるだけでいい気分になる/行政に頼り切らない住民自治/近所づきあい薄いので、そういうつきあいの場がある暮らし/高齢者や近隣住民に声かけられる暮らし
キャッチフレーズ	『子どもから大人まで 思いやりでつながる 湘南 茅ヶ崎 いい気分♪』

グループ 7	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎における理想の暮らし	茅ヶ崎は便利だし、海も山もあるから不満はない/人が集まることによって助け合い、支え合いもできると思う、便利さ観光資源を維持しつつ人を集めることが大切/現状の良いところを継続してほしい/今後はお今の便利さを維持するのは難しいかもしれない、新しく何かすることで今の状態を維持することが必要になる/高齢者が趣味などで働ける社会を!/保育園の増加をきたしたい/手入れが行き届いていないガタガタの道路があるが、行政は知っているのか疑問、整備が行き届くと良い/周りから茅ヶ崎に住んでいると羨ましがられる。これは素晴らしいことだと思うし、自然を維持しているのも良いことだと思う/次の世代まで茅ヶ崎って良いなと思ってもらえることが理想/再雇用の条件が狭き門だと感じる、高齢者が働きやすい環境を整えてほしい。また年齢によって受けられるサービスが決まっているのはどうにかならないのか…/やる気のある・体が動く人が選択できる自由があると良い/レンタサイクルも使い方を分ければもっと広がるのでは?各スポットに自転車を置くところがあるのはいいアイディア/茅ヶ崎にドリンクバー付きの勉強環境が欲しい/学生が卒業しても茅ヶ崎に住みたいと思われるまちにしたい/横浜よりも物価は安いしここに住みたいと思ってほしい/夏にビーサンを履いていてそれが当たり前の空

	間は茅ヶ崎ならではの/懐かしいけど新しいそんな場所をつくりたい
(2) キャッチフレーズ	『懐かしいけど新しいまち、茅ヶ崎』

グループ 8	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎における理想の暮らし	未来の世代のことを考えた暮らしができるまち/環境に優しい暮らし/環境エネルギーが活用されている暮らし/環境教育が子供にされている/多世代の交流がある暮らし/自律性、自発性のある暮らし/お年寄りが活躍するまち(生きがい、使命感)/どの世代の住民も生き生きできるまち/健康で長生きできるまち/子育てと仕事の両立がしやすいまち/介護と仕事の両立がしやすいまち/地域で子育て、介護などにおいて助け合いができるまち/住民同士のつながりがある暮らし、まち/住民同士のコミュニティの形成と活性化/開放的なコミュニティがある/住民が気軽に集まれる開放的な場所(施設)が確保されている→新たに作るのではなく、今あるものを、コンビニの活用など/お年寄りの交通手段が確保されている/行政と住民とのコミュニケーションがある/住民の心が元気であるまち/他のまちの人にも訪れてくれるまち/まちにとって住民が人財となっている
(2) キャッチフレーズ	『活力溢れる絆の深いまち、茅ヶ崎』

グループ 9	グループ意見
(1) 2030 年の茅ヶ崎における理想の暮らし	医療費削減のために、延命治療をなくしてほしい/来年からスイミングスクール等がなくなるため、体力づくり、維持ができる環境をつくってほしい/細々と仕事を続けたい、ゆったりと働ける雇用先を保障して欲しい→生きがいを守れる優しいまち/車を運転できなくなっても動き回れる交通手段を作って欲しい/高齢者は 1 人になる可能性があるため、そのような高齢者を地域全体で見守れるまちになってほしい→民間でできることは限られているため、行政に仕組みづくりをして欲しい/外部から人を呼び込む体制をつくるべき/料理ができて、一人暮らしであるため惣菜で食事を済ませてしまう人が料理をする場を作って欲しい(子ども食堂など)/孤独を感じない居場所づくり/誰かのために動きたくても、どこに行ったらいいかわからない/自分ができることを行政に伝えれば、それを活かせる場を紹介してもらえる制度を作って欲しい
(2) キャッチフレーズ	『生きがいを持って元気に過ごせるまち、茅ヶ崎』 生涯現役でいられるまち/生きがい/元気

(4) 参加学生の感想と意見

文教大学・国際学部生

① 市民討議会に対する印象と感想

- 茅ヶ崎で暮らしている人ならではの話を聞くことができ、議論も茅ヶ崎についてよく話し合えたと思う。
- 幅広い世代が集まることで、さまざまな異なる意見や考え方が集まったように感じた。
- 参加者の世代の差もそうだが、長い間住み続けている人とここ数年のうちに引っ越してきた人との間では地元の知識や情報に違いがあり、市民間でそれらを交換する場としても有効だと感じた。
- 茅ヶ崎に住んでいる様々な年代の方の意見が聞けて面白かった。特に今回は若い年代の方も参加して下さっていたので、色々な意見が出たと思う。問いに対して同じ意見もあれば、考え方、感じ方がそれぞれ違う部分もあったので意見をまとめるのは難しいと感じた。
- 市民の意見を行政が調査する良い機会となっていた。市民の参加者数も多く年代も多岐にわたっており、双方の良い経験の場となったと思う。
- 行政が市民の声を聞く場づくりに取り組む姿勢は良いと感じた。実際の市民の方の声を聞けて新しい発見があった。
- 討議内容が総合計画についてだったので、具体的にイメージすることが難しく、話し合えるか不安な面もあったが、話が盛り上がり、手応えを感じた。
- 市民の意見として、マイナス意見が出ることも多く、良い面の意見を集めようとしてもなかなか良い意見が出にくかったという印象がある。

② 市民討議会の重要性について

- 今回の討議会は市民が、茅ヶ崎らしさや身の回りで感じる課題・改善点、茅ヶ崎の将来について話し合う貴重な場になったと感じる。
- 市が市民の声を知るためにも、市民同士が互いの意見を知るためにも重要な場であると思う。
- 市民から意見を直接聞いて、さらに話し合う機会はなかなか無いと思うので、話し合いを活かしていく手段として、続けて行くべきだと思う。
- 市民の「まちづくり」参加への促進と、行政の市民の生きた意見に生で触れることができる点が重要だと思う。
- 多世代交流の場になっている。茅ヶ崎で暮らす人々の生の声を知ることができる場であると感じる。
- 討議会はその場で多くの市民が話をするので、まちのことを考える場であり、意見が「見える化」されるという点で、重要であると感じた。そういう場があることで、普段何気なく住んでいるまちを意識して考えるきっかけになり、市民と行政の立場が近くなるのではないかと感じた。
- 茅ヶ崎の市民の人々の声が届く、とてもいい機会だと思う。市民討議会で出た意見が反映されることが大事であると感じる。
- 声を聞くことは重要だが、それが結果に反映されなければ話し合いの意味がないので、今後の反映方法が重要だと思った。

③ 市民討議会の企画・運営について（良かったこと、今後改善、検討すべきことなど）

- 議論する際に場の空気を読みあってしまい、声が上がらない場面があった。円滑な話し合いができるよう、もう少しアイスブレイクに時間をかける必要があるのではないだろうか。また、学生間でうまくサポートできるようにしなければいけないと思った。

- 丸一日の討議は、参加者にとり大変だと感じた。半日にして、その分もう少し頻度を増やすのもいいのではと思った。
- 最初の討議の時間が足りないと感じた。始めは慣れていないということもあるので、まず簡単で考えやすいものから始めたほうがいいと思う。
- 討議内容が複雑で、市民の方が混乱することがあった。もう少し分かりやすくすべきであると感じた。また、討議の際に必要な資料がないことがあり、準備を万端にすべきだと思った。
- 時間的な制約も考慮しつつ、意見交換に慣れていない市民たちが効率よく手順をこなすための工夫を考えておくべきだと思った。また、事前知識の資料を参加予定者に当日以前に配布すべきかどうか、意見交換と発表の時間を延長して参加者が意見をまとめる時間を十分に確保すべきかどうか、検討が必要だと感じた。
- ファシリテーターのあり方は検討すべきだと感じた。書記と進行役の分担など、円滑な進行のために工夫できるところがある。
- 事前に、同席したスタッフ間での役割分担をすべきだと思う。役割を把握していない人がいると、自分が戸惑ってしまう。
- JCの方は進行、学生は書記という事前の役割分担があっても、当日の状況をみて、学生が進行をしてもいいのではないかと思った。その場合は、JCの方が書記をしても良いのかもしれない。次回は、学生とJCのみなさんの連携もうまくとれるといいと感じた。

4 アンケートの結果

(1) 事前アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業		
①	農業・漁業	0
②	自営業・経営者	1
③	自由業	1
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	4
⑥	専門技術職	2
⑦	事務職	4
⑧	販売・サービス職	1
⑨	製造・労務職	2
⑩	パート・アルバイト	8
⑪	家事専業	4
⑫	学生	4
⑬	無職	7
⑭	その他	2

設問 2, 家族形態		
①	単身	3
②	(自身の)夫婦のみ	7
③	未婚の子どもと同居	18
④	既婚の子どもと同居	1
⑤	親世代と同居	9
⑥	三世代以上が同居	1
⑦	その他	1

設問 3, 住居形態		
①	持ち家（戸建）	29
②	借家（戸建）	1
③	集合住宅（分譲）	5
④	集合住宅（賃貸）	5
⑤	公営住宅	0
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	1 年未満	1
②	1 年～5 年未満	7
③	5 年～10 年未満	3
④	10 年～20 年未満	7
⑤	20 年以上	17
⑥	生まれてからずっと	7

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向		
①	住み続けたい	24
②	できれば住み続けたい	11
③	できれば転出したい	1
④	転出したい	0
⑤	わからない	4
⑥	その他	0

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く)		
①	2 時間未満	1
②	2～4 時間未満	9
③	4～7 時間未満	15
④	7～12 時間未満	9
⑤	12 時間以上	4
⑥	その他	2

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか		
①	面白そう	18
②	良い取組み	11
③	新しい取組みへの期待	19
④	選ばれてよかった	8
⑤	なぜ討議をするのか不明	2
⑥	実際に何をするのか不安	9
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	2
⑨	その他	1

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか		
①	討議会が興味深かった	19
②	テーマが興味深かった	3
③	日程的に都合がよかった	10
④	市のために協力したかった	10
⑤	市民の役割として大切だと思った	17
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	7
⑦	市から手紙が届き参加しなければならなかった	1
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	4
⑨	その他	0

設問 9-1, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか		
①	必要だと思った(参加はするが必要と感じた)	12
②	不要だと思った	22
③	その他	6

設問 9-2, 【設問 9-1】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	7
ウ	謝礼 5000 円	3
エ	謝礼 10000 円	1
オ	謝礼品 1000 円程度	0
カ	謝礼品 3000 円程度	1
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 9-1, ③その他	
○半日だと不要だと思うが、全日だとないと参加者が集まりにくいかもしれない ○住民税の控除はいかがですか？ ○図書カードなどの商品券が望ましいと思います ○弁当、交通費程度 ○同じ市内でもバスや自家用車を利用しなければならない人もいると思うので検討は必要だと思う ○特に考えていない	

(2) 事後アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言えばそう思う	い どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	21	13	6	0	0
B	討議の進め方はわかりやすかったですか	8	15	12	3	2
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	8	16	7	7	1
D	討議1のアイスブレイクで話しやすくなりましたか	15	16	6	2	0
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	12	11	11	5	1
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	15	11	6	5	2
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	14	10	12	2	0
H	討議3のテーマは、話しやすかったですか	11	13	7	4	1
I	討議を通して自分の考えは深まりましたか	13	18	6	2	1
J	グループ発表は、全員の意見が十分反映されましたか	15	14	8	2	0
K	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	16	19	2	2	1
L	市民討議会は市民の声を反映されるのに有効な手法と感じましたか	12	20	5	3	0
M	討議に参加して、市民が「まちづくりの主役」という印象が強まりましたか	11	16	11	2	0

設問 2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか		
①	円滑に進んだ	12
②	やや円滑に進んだ	21
③	どちらとも言えない	2
④	やや行き詰まったときがあった	4
⑤	何度も行き詰まった	0
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

- 順番に指して話してもらう
- 時間に対して、内容を詰め込みすぎだと思います
- より明確なテーマづくり
- 討議のテーマがどうしても多岐に渡るので限定したテーマがよいのではないか（与えられた時間では情報交換に終わることもある）
- 情報提供の内容と話し合いの方向性が結び付きにくい印象がありました
- 世代別でもやるのはありかと。若者への政策や子育て関係に大いに興味があります。全国高校生未来会議で神奈川代表をしたので沢山のツテがあります
- 座談会風にお茶菓子を囲みながらワイワイと話せる回が3／1回ほどあっても良いかと思いました（堅苦しさがほぐれる時があっても良いかな？と・・・）
- テーマを減らす。時間があまりにも短い（このスタイルがまだ定着していないから・・・？）とても良い企画だと思います。この思いが伝わっていくことを願っています
- テーマをもう少し具体化して欲しい。聞くだけ云うだけになっているような気がする
- 司会、サポート役の方がもっと発信をしたほうが良いかと感じました。場を和ませる様な工夫があればいいかと感じました
- 世代は固めた方がいかもしれません。他の年代の方の意見は参考になるものの意見が分散して深まった感じはしませんでした
- テーマを明確に
- 司会が参加者に発話を促す。議論が止まった時に全て参加者任せでは話し合いが進まない。学生の司会のような役割はあまり上手くいっていなかったもので、市なり青年会議所の方なりの助力が必要だったのではないのでしょうか。
- が嫌など、マイナスな考えではなく、聞く人の態度、表情も大切。どうしたら良くなるか？とプラスな考えで話を進めるといいのでは
- このままでいいように思います
- 幅広い年代がいてほしかった（若い人が多い）
- 付箋の記入を含めみんなで意見交換できたら良かった（学生さんにも話し合いに積極的に加ってもらえるように）
- 現状の実態と情報が少なく思いました
- 時間が少なく具体的状況まで進まなかったのでは？

設問 3, 討議の際、1 つのテーマについて平均して何回くらいお話しされましたか		
①	10 回以上	8
②	7～9 回	7
③	4～6 回	21
④	1～3 回	3
⑤	0 回	0
⑥	わからない	0

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか(○はいくつでも)		
①	さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	31
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	32
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	13
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	2
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	1
⑥	その他	1

問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか		
①	日程	33
②	内容・テーマ	16
③	謝礼の有無と金額	1
④	案内があればぜひ参加したい	12
⑤	条件を問わず参加しない	1
⑥	その他	0

設問 6, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか		
①	必要	15
②	不必要	24

設問 6-1, 【設問 6】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	5
イ	謝礼 3000 円	5
ウ	謝礼 5000 円	3
エ	謝礼 10000 円	2
オ	謝礼品 1000 円程度	2
カ	謝礼品 3000 円程度	1
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	1

設問 7, 今後、市民討議会をはじめとした市民参加（市政への参加）について、どのようにお考えですか		
①	積極的に参加したい	9
②	案内があれば参加したい	28
③	参加しない	3

設問 8, 平成 30 年度に向けて都市マスタープランの改定作業を行っていますが、改定後は今まで以上に“市民と連携したまちづくり”の推進を検討しています。今後のまちづくりへの参加について、どのようにお考えですか		
①	是非参加したい	20
②	興味はあるが、わからない	18
③	参加しない	1

設問 7, 【3 参加しない】と選択した方→それはなぜですか	
○時間が長い（2 件）	
○住んで短いので役に立たないかな？	

(3) 不参加者アンケート

29年度市民討議会不参加者アンケート集計（511名回答）

（※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない）

年代		
①	20歳代以下	91
②	30歳代	116
③	40歳代	113
④	50歳代	56
⑤	60歳代	53
⑥	70歳代	48
⑦	80歳代	26
⑧	90歳代以上	8

性別		
①	男性	157
②	女性	273
無回答		81

設問1 市民討議会について、知っていましたか。		
①	よく知っている	5
②	少し知っている	22
③	言葉を聞いたことがあった	86
④	初めて知った	396
無回答		2

設問2 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか。 (複数回答可)		
①	面白そうに思った	126
②	不思議に思った	196
③	分からない	141
④	その他	40

設問2 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか。 その他④
○何か面倒なものが届いたなと思った／○良い施策だと思う。どうしようかと思った／○困ったな？と思った。時間がないので／○そういうのがあるのかと思いました（3件）／○市政運営検討会に直接参加するチャンスがあるのは意味あると思いました／○市民の声を吸い上げるシステムは素晴らしいと感じました。テーマについて概要でも事前（参加者決定後でも良いと思う）に知った方が良いのではないのでしょうか？ただ聞くだけの人もでませんか？／○広く意見を集める方法としてはいいのでは（ネットに比べて）／○驚いた（3件）／○残念ですがこういう打ち上げ花火的なイベントはあまり議論が深まらないだろうと思いました／○①市議会議員・市職員は何のために存在しているのかな？10年先を話せる市民、市職員はいるのかな？②よくある市民の行政への不満ガス抜きか。行政の不実行分の言い訳集めイベントかな？③郵便費用だけでも大変だな／○年配者には難しいのでは／○初めて討議会のことを知り、市民の声を直接行政に反映できる素晴らしいチャンスだと思いました／○意外に思った／○抽選であたったと思った／○また何かに選ばれたかと思ひ面倒と思った／○無作為抽出によって選ばれたんだと思った／○良いことだと思った（4件）／○年寄りなのに／○市議会や市民の会があるのに何で討議会が必要か？ ○本人知的障害者なのでどうして？／○実際にこのように行われているのかと感じた／○特に何も思わなかった／○このテーマならもっと若い人達の方がいい／○茅ヶ崎市でもこのようなことを行っているのだと思った。アピール不足と感じた／○市民の一員として認めてもらえたのが嬉しかった／○特に何も思わなかった／○社会とつながる機会になれば良いと思います

設問3 スケジュールについて（複数回答可）		
①	終日では長時間に感じる	179
②	終日時間を費やすことはできない	160
③	土・日曜日は都合が合わない	63
④	今回は都合が合わない	176
⑤	その他	31

設問3 スケジュールについて その他⑤	
○日曜日しか休日が無いので終日はきびしい／○小さい子がいるため1日は無理です／○病気のため（5件）／○歩行不自由／○乳児がいるため都合が合わない／○行政の改善可能な切実なテーマならば終日どころか数日かかっても出席させていただきます。他予定を変更してでも／○自分で集中してやりたいことがある／○高齢のため無理（3件）／○人前に出るのが苦手／○企業では働き方改革で会議時間の短縮を進めている中、終日の会議は平日働いている者にとっては休養がなくなるので参加したくない／○働く自分にとって貴重な休みの一日を費やすことはできない／○2歳未満の託児ができないとのことなので参加できません／○本人認知症／○拘束時間が長い／○仕事が不規則なため（2件）／○参加する気がないので考えない／○仕事をしているので平日では無理／○子どもがいますので、日曜、終日は難しいです／○スタートすれば相当な協議日程を組まなければならず合わせられないと考える／○参加してみないと分からない／○初めは参加する予定でしたが学校行事と重なってしまったため／○直前まで都合がわからない	

設問4 今回参加されなかった理由は何ですか。（複数回答可）		
①	日程が合わなかったから	274
②	興味のないテーマだったから	39
③	行政の事業には興味がないから	21
④	面倒だから	65
⑤	謝礼がないから	27
⑥	その他	139

設問4 今回参加されなかった理由は何ですか。 その他⑥	
○仕事のため（7件）／○小さい子どもがいるため参加が難しい（21件）／○忙しい（3件） ○興味はあるがまちの課題を発言する自信はない／○日程も合わず参加は無理です／○休日は、家の事をやらないといけないのと、他の予定が入っていたから／○テーマが分かりづらい（2件）／ ○妊娠中のため（3件）／○入院中のため（2件）／○体調不良のため（12件）○家事、育児があるので終日は無理だから／○長時間子どもを預けることが不安だから／○高齢のため（8件）／ ○病気治療中のため（8件）／○そういう場に慣れていないので／○託児サービスが2歳以上と該当しないため（2件）／○今回の日程は湘南国際マラソンと同日です。地元のイベントと日程が被らない様、調整した方が良くかと／○人見知り、発言が苦手、不得意（6件）／○長時間のため（10件）／○具体的なテーマが当日という曖昧さがもう少し具体的な内容を伝えるべき／○市民生活に必要なならば参加します。市政に切実な興味を持っています。今回のテーマが分かりません。	

今を討議しなければならないのに 2030 年 13 年先を話せる市民がいるのでしょうか。衣食住、茅ヶ崎の市民環境は大変です。選挙と同じくらい大切なイベントだと思います。面倒とは失礼です。何のための謝礼ですか。買収？お金をもらって自分の意見を言うのですか？面倒と思われる、謝礼を出さねば集まらない企画はダメ。議題別分科会（少人数グループ）の課題を予め提示されて出欠をとるのが常識だと思います。当日配布は非常識。非常識。／○家庭の事情で家をあけることができない／○現在、市の臨時職員として働いているから／○介護認定を受けている／○行く予定がないので／○耳、目、口、頭が不自由でお役目を果たすことが出来ない。申し訳ありません／○行政に関することじたい難しいと感じるから／○湘南国際マラソンと被る／○介護人、病人がいるため（4 件）／○受験勉強のため（3 件）／○仕事優先の生活を送って来たので、社会参加をしてこなかったため、出る勇気がないです／○年齢的に 2030 年の話題は??? 考えられない／○現在行政の立場なので一般市民としての意見にはならないと考え辞退した

○参加したいと思うがいくら託児があっても終日預けて参加する気持ちにはなれませんでした

○茅ヶ崎に越してそんなに長くないので意見できることがまだない／○討議内容が詳しく記載されていないので答えられるかわからない。アンケートの方が答えやすい／○足が不自由の為／○海外留学中／○若い人に／○子育て中で長時間離れられなし、自分が公務員だから／○難しそうだから（3 件）／○12 月はサービス業で忙しいから。話し合いで本当に意見が尊重されると思わない／○障害があって話し合いなどの能力がない。ハードルが高すぎる／○相当な協議を重ねて結論を導き出すのに参考意見として処理される。予算の問題や別の意見により結論は曲げられてしまう／○話しをしたことが行政に反映しないと思うから／○青年会議所メンバーなのでファシリテーター役として参加するため／○もっと近場で行ければ行ってみたい／○日々忙しく、参考意見となるような考えを持ち合わせていないため／○都合上仕方のない部分もあるのですが、テーマがあまりにもぼんやりとしているのでどのようなことを討議するか。自分で考えておくことができず、参加してもあまり意味がないのではと感じてしまいました／○友達と一緒にいたら参加したいと思う／○「参考意見として活用して」が不明確

5 講評

平成 29 年度市民討議会

「2030 年の茅ヶ崎ぐらし～私たち色の茅ヶ崎をだいたんコーディネート～」を振り返って

今年度のテーマは、茅ヶ崎市にも早晚訪れる人口減少社会の姿を想像しながら、10 年後の茅ヶ崎に必要な政策を考えることでした。「人口減少社会はいかなる社会なのか」という問に対して一定の見解を出すことは、私自身にとっても課題でありつづけているので、さまざまな属性をもつ市民の方たちの意見を聞くことができる貴重な機会でもあると考え、情報提供者をお引き受けしました。

市民討議会は、3 つのセッションに分けて進められました。〔討議 1〕はアイスブレイクも兼ねた「話そう！今、大切だと思うこと」、〔討議 2〕で私からの情報提供を踏まえての「話そう！これからの茅ヶ崎で大切なこと」、〔討議 3〕は「話そう！2030 年の茅ヶ崎をだいたんコーディネート」でした。私は都市計画研究から出発し、都市の変動要因への関心から人口・家族変動へと研究対象を広げていったというバックグラウンドを持っています。そうした立場から〔討議 1〕を聞いているうちに少し疑問を感じるようになりました。それは当事者性をめぐる問題です。

そこで急遽、パワーポイントの 1 枚目に以下の内容を追加して、そこから話し始めることにしました。「専門家の持っている知識や技術と、当事者が持っている経験や知恵は基本的に対等であるということです。そこに優劣はありません。そのことを通じて、専門家も当事者も本来の役割を取り戻すことができます。（向谷地生良・浦河べてるの家『安心して絶望できる人生』）」これは統合失調症などを持つ当事者と医師などの専門家の関係について述べたものですが、広く当事者と専門家の関係に当てはまるものだと思います。ここでは、市民が当事者であり、行政職員や「有識者」に位置づけられる私（たち）が専門家です。

討議会に参加した市民はランダムに選ばれたなかから、自らの意思で参加を決めた方たちです。「討議」に前向きであり、知識も豊富で当事者性を相対的に強く持つ方たちであると考えてよいと思います。こうした属性は、〔討議 1〕の各グループの発表には、少なからず専門用語や既存の行政的解決策の提案が含まれるという形で表れていました。

たとえば、東海道線より南側の狹隘道路で街割りができてしまっている地域において、交通の安全に問題があり、その解決に区画整理が必要であるといった発表がありました。これは決して間違った捉え方ではありません。しかし、土地区画整理事業は新しく市街地をつくる（街割りをする）際に有効な事業手法であり、既成市街地で実施することは、権利調整、費用、時間などの点で多くの困難が伴います。その困難を超えて事業に取り組むという合意は、とくに人口減少が進み、自治体財政に余裕がなくなる状況では、まず不可能と考えてよいでしょう。茅ヶ崎を含む大都市圏郊外地域は、例外的な場合を除いて、市街地の街割りの形は大きく変わらないことを前提に、これからの日々の暮らしを組み立てていかなければなりません。この例に限らず、各グループの発表全体を聞くなかで、「市民が市民としての当事者性を持つ」状態が十分につくり出せていないこと、それを実現するための前提や条件をどのように共有するかが大切であることに気づかされました。

市民は、日々、市民として生活しているのだから、当事者性を持っているのは当然だという考え方も成り立ちます。しかし、中西正司・上野千鶴子『当事者主権』では、「私の現在の状態を、こうあってほしい状態に対する不足ととらえて、そうでない新しい現実をつくりだそうとする構想力を持ったとき、はじめてニーズとは何かのわかり、人は当事者となる」と当事者を定義しており、当事者性の獲得には「新しい現実をつくりだそうとする構想力」が必要であると指摘しています（中西らの当事者論は、主に障害者について議論を展開している点に留意する必要があります）。

市民が当事者性を十分に獲得できていないのは、「新しい現実をつくりだそうとする構想力」が、市役所が中心となって実施される現実の「行政施策」という枠組みに規定されている傾向が強いからではないでしょうか。討議会全体を通して、行政職員も市民もそのことを暗黙の前提にしているように感じました。行政職員は「施策の枠組みを超えて自由に議論してもらうことを期待している」と主張されるかもしれませんが、市民も「行政施策は意識せずに自由に議論している」と答えるかもしれません。しかし、そこに「暗黙の前提」が生まれる^{かんせい}陥穽が隠されているように思います。

市民が「構想力」をもつためには、市民生活の「こうあってほしい状態」の制約や広がりに関する共通認識を市民と行政が持たなければなりません。それは現実の行政施策の先にあるものであり、そこに至るための最初の枠組みは専門家集団である行政が提示する必要があります。当事者と専門家が対等になって本来の役割を果たすためには、現在行っている行政サービスの範囲について、それを拡大すべきか縮小すべきか、新たなサービス領域をどのように考えているか、といった行政内部で行われている（あるいは行われるべき）議論を整理し、市民に提示していくことが必要だということです。とくに、人口減少が進行するフェーズにおいては、実態の変化に即して、制約が増してくる財源と人的資源の配分に関する優先順位を決めなければならなくなります。行政がそれらを含めて分かりやすく提示することが、当事者である市民の「新しい現実をつくりだそうとする構想力」を喚起し、その知恵を活かすことができる機会を多く生むことにつながるはずです。

人口減少社会とは何がどのように変化し、そのなかで行政の役割はどう変化していくべきなのかは大変難しい問題です。情報提供でも述べたように、今後 20 年くらいを見通すと、人口減少社会は、高齢化が進むのはもちろんのこと、家族の姿が大きく変わり新たな家族支援の仕組みが必要になること、大都市圏郊外で最初の人口増加を牽引した第 1 世代（1930・40 年代生れ）が 2030 年前後に退出し居住層の入れ替わりが起こること、女性のフルタイム就業が増えること等に着目する必要があります。これは日本全体で進行することではありますが、東京大都市圏、神奈川県、県央地域、茅ヶ崎市でそれぞれ異なる地域差を伴って進行します。茅ヶ崎市は 1960 年代以降の世代の流入が顕著であり、子育て世代が卓越的であるという特徴があります。日本全体の動向や将来見通しをもとに展開されている少子高齢・人口減少社会論をそのまま適用することは適切ではありません。こうしたことを行政の各領域で、また領域相互間で認識を深め、市民生活の「こうあってほしい状態」の制約や広がりに関する市民と行政の共通認識の形成へと進むことが望まれます。

〔討議 3〕のまとめにあたる発表において、当事者性を意識した市民の発言が少なからずあり、市民には十分なポテンシャルがあることが理解できました。今後、市民討議会に限らず、さまざまな市民との意見交換の場を持ちながら、茅ヶ崎らしい協働の形が創られていくことを期待します。

放送大学客員教授
慶應義塾大学名誉教授
大江 守之

6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 茅ヶ崎市「市民討議会」開催に関する協定の締結（4月20日）
- (2) 平成29年度第1回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（9月7日）
市民討議会テーマの検討、実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討、抽出する市民の数及び年齢層等の検討。
- (3) 平成29年度第2回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（9月25日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、招待状の内容の検討、事前・事後アンケート内容等の検討。
- (4) 平成29年度第3回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月2日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、当日のスケジュールの検討、情報提供者の検討、事前・事後アンケート内容等の検討。
- (5) 平成29年度第4回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月26日）
討議テーマの最終確認、当日のスケジュールの最終確認、事前・事後アンケートの最終確認、必要物品等の確認。
- (6) 模擬「市民討議会」実施（11月17日）
- (7) 市民討議会「話そう！2030年の茅ヶ崎ぐらし ～私たち色の茅ヶ崎をだいたんコーディネート～」開催（12月3日）
- (8) 第5回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（12月27日）
実績確認および反省点の共有、来年度以降の市民討議会の運営体制について確認

あとがき

平成29年は7月および今回12月に開催された「話そう！2030年の茅ヶ崎ぐらし～私たち色の茅ヶ崎だいたんコーディネート～」をテーマにした討議会を開催しました。次期2021年から2030年の茅ヶ崎総合計画を策定するため、市民の皆様と話し合える貴重なテーマであり、市政としても非常に重要な機会であったと思います。

総合計画とは、市の目指す将来の姿を明らかにし、計画的に実現し、政策の基本的な方向を総合的に定める計画であり、茅ヶ崎市がどんな道を歩み、どこに向かっていくという将来の道を決める茅ヶ崎市政の柱となるものです。総合計画を策定するためには、茅ヶ崎市の現状を見つめ、幅広い年齢層、老若男女問わず一般市民の皆様が何を感じてどのように暮らし、なにを望んでいるのかを聞いていく必要があります。よって、市民討議会は一般市民の皆様意見を話し合う重要な場でもあります。

今回の市民討議会を通して感じたことは、若い世代の方々が非常に多く参加し、そして、その方々が強い関心を持っていたことです。昨今、政治や政策に無関心な人々が増えていき、選挙の投票率が毎年下がっています。その対策として選挙権年齢の引き下げをした現状もあり、若い世代の人たちが意見を発言し、幅広い年代の意見を聞きこのような場で話し合うことは非常に重要な機会であります。だからこそ、政治や市政に関心を持ち、より良い社会、まちづくり運動、社会貢献といった重要性を感じ動いていくことが大切と考えています。皆様からの様々な角度から発せられる個別の意見や要望があるなかで、この点と点をつなぎ合わせる事が社会の役割であり、より良いまちづくり運動に繋がっていくと感じています。

若い世代の一人一人が自ら考え、行動し、安心して住みやすい街を作っていく。そういった意識の中、日々の生活や仕事などに反映していくことがサイクルとなり点と点が繋がって良い流れが循環し、人々が幸せに暮らしていける町になることを願っています。最後に、このような機会を頂きまして関係者の皆様、そして多くの参加して頂きました茅ヶ崎市民の皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
竹内 悟門

平成 2 9 年度第 2 回茅ヶ崎市市民討議会報告書
平成 3 0 年 3 月発行

編集 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
茅ヶ崎市新栄町 1 3 番 2 9 号
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所内